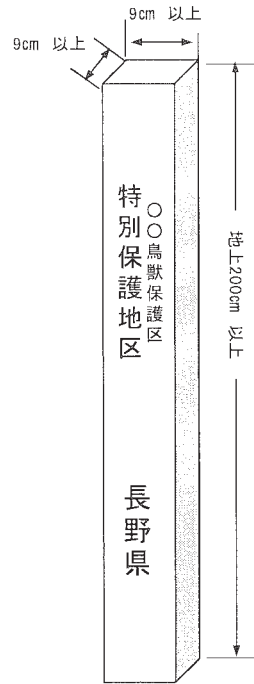


(様式第3号) (第2条関係)

1 特別保護地区用
制札

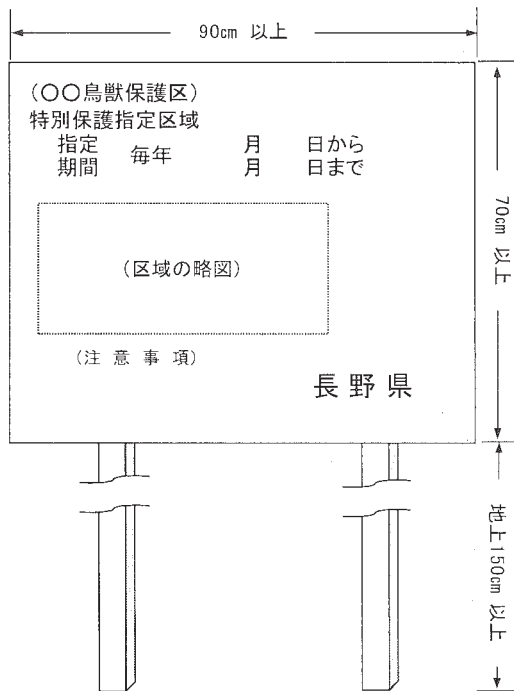


標柱



(備考) 支柱の太さの寸法は、木材を使用する場合のものであり、鉄材等を用いる場合にあつては、これと同程度以上の強度があれば、その寸法によらないことができる。

2 特別保護指定区域用
制札

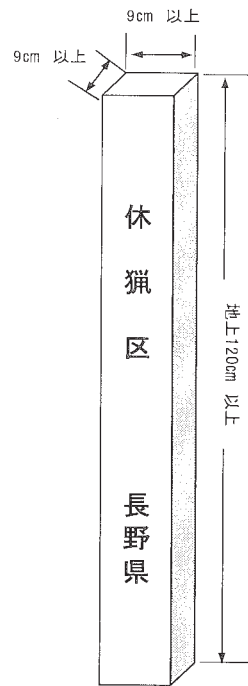


(様式第4号) (第2条関係)

制札



標柱



(備考) 支柱を用いる場合にあつては、支柱の地上部分の長さは80cm以上とする。

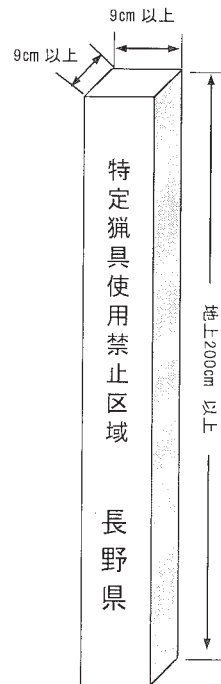
(様式第5号) (第2条関係)

1 特定猟具使用禁止区域用

制札

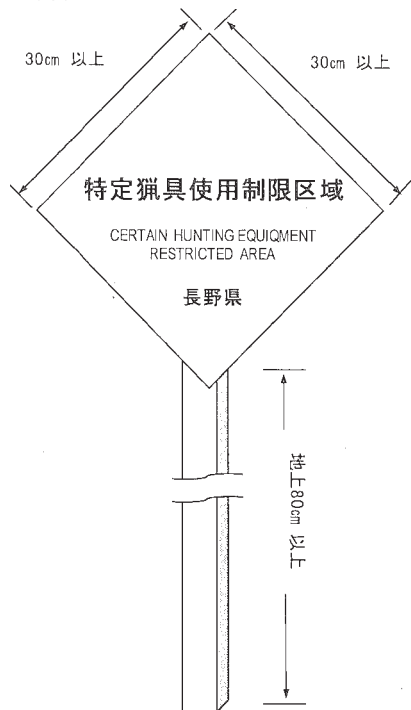


標柱



(備考) 支柱の太さの寸法は、木材を使用する場合のものであり、鉄材等を用いる場合にあつては、これと同程度以上の強度があれば、その寸法によらないことができる。

2 特定猟具使用制限区域用
制札



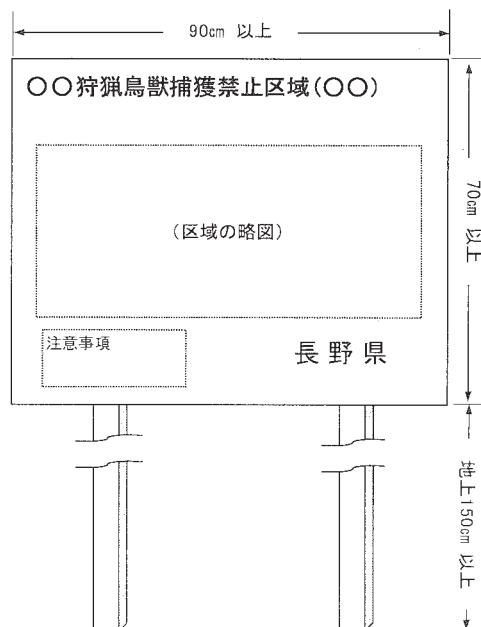
(備考) 支柱を用いる場合にあつては、支柱の地上部分の長さは80cm以上とする。

(様式第6号) (第3条関係)

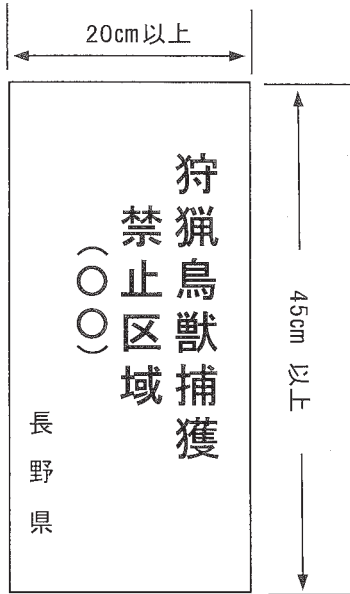
1 狩猟鳥獣の捕獲等を禁止する区域用
制札



区域の略図、注意事項等を示す標識



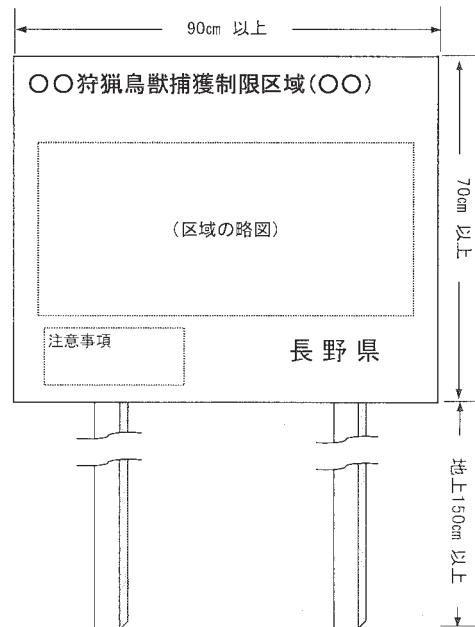
既存の工作物等を利用して設置する標識



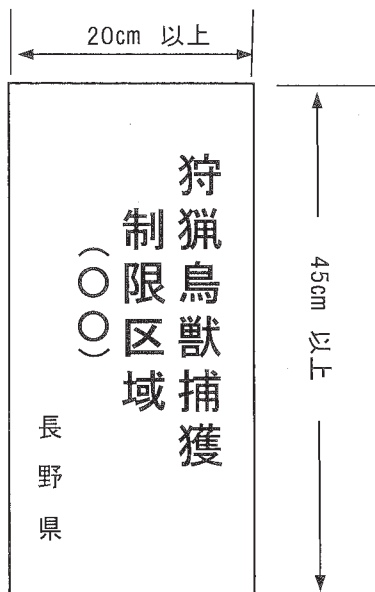
- (備考) 1 (〇〇)の部分には、対象狩猟鳥獣名を表記すること。
 2 英語表記は、必要に応じて行うものとする。
 3 制札の支柱の太さの寸法は、木材を使用する場合のものであり、鉄材等を用いる場合にあっては、これと同程度以上の強度があれば、その寸法によらないことができる。
 4 既存の工作物等を利用して設置する標識については、原則として地上150cm以上の場所で固定させること。
 5 注意事項には、必要に応じて区域の説明等を記載すること。

2 狩猟鳥獣の捕獲等を制限する区域用制札

区域の略図、注意事項等を示す標識



既存の工作物等を利用して設置する標識

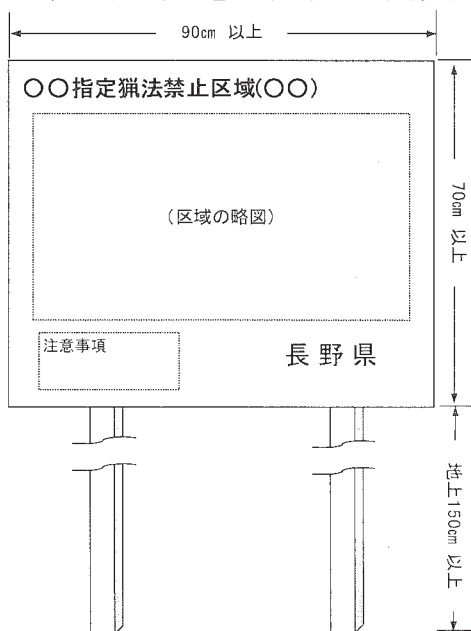


- (備考) 1 (○○)の部分には、対象狩猟鳥獣名を表記すること。
 2 英語表記は、必要に応じて行うものとする。
 3 制札の支柱の太さの寸法は、木材を使用する場合のものであり、鉄材等を用いる場合にあっては、これと同程度以上の強度があれば、その寸法によらないことができる。
 4 既存の工作物等を利用して設置する標識については、原則として地上150cm以上の場所で固定させること。
 5 注意事項には、必要に応じて区域の説明等を記載すること。

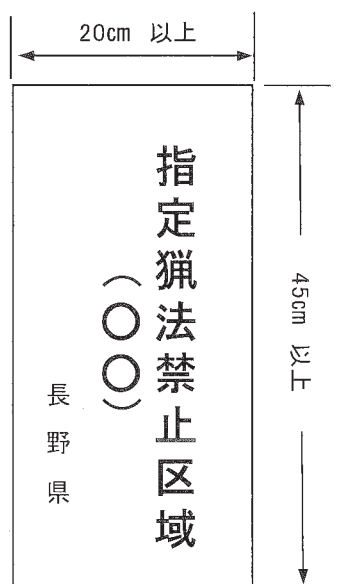
(様式第7号) (第3条関係)

1 指定猟法禁止区域用

区域の略図、注意事項等を示す標識



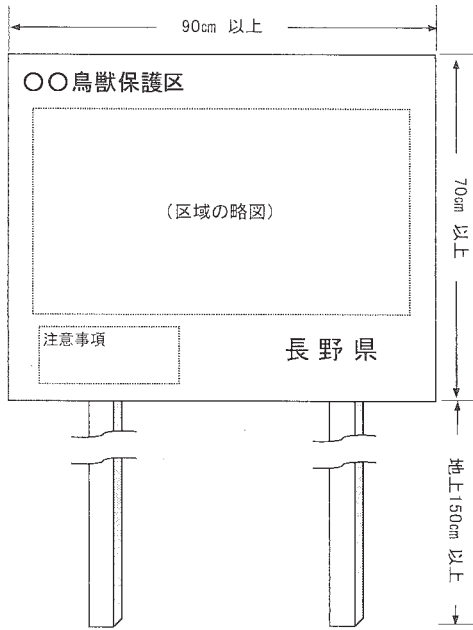
既存の工作物等を利用して設置する標識



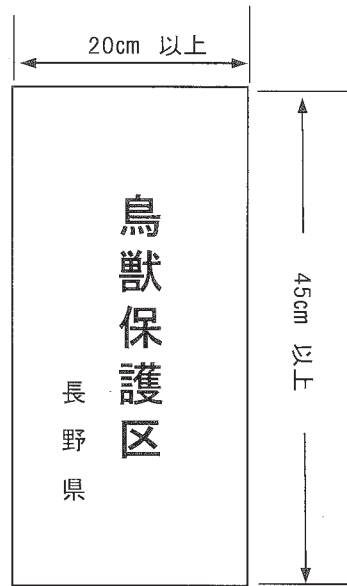
- (備考) 1 (○○)の部分には、禁止する指定猟法名を表記すること。
 2 既存の工作物等を利用して設置する標識については、原則として地上150cm以上の場所で固定させること。
 3 注意事項には、必要に応じて区域の説明等を記載すること。

2 鳥獣保護区用

区域の略図、注意事項等を示す標識



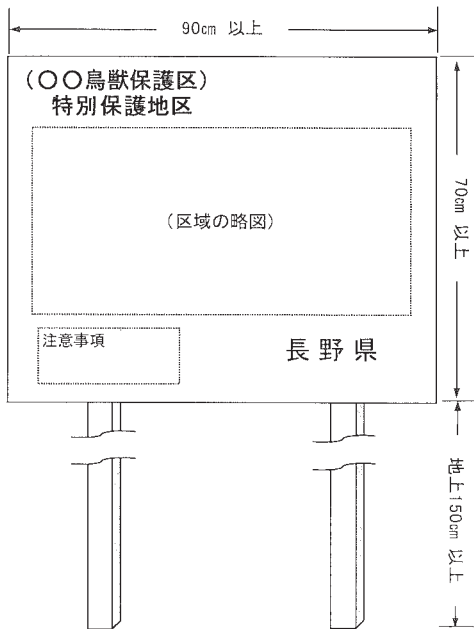
既存の工作物等を利用して設置する標識



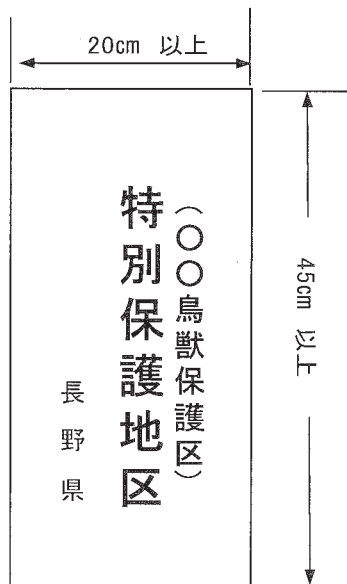
- (備考) 1 既存の工作物等を利用して設置する標識については、原則として地上 150cm 以上の場所で固定させること。
 2 注意事項には、必要に応じて区域の説明等を記載すること。

3 特別保護地区用

区域の略図、注意事項等を示す標識



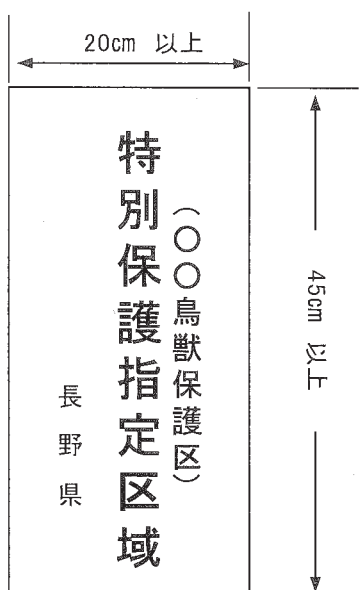
既存の工作物等を利用して設置する標識



- (備考) 1 既存の工作物等を利用して設置する標識については、原則として地上 150cm 以上の場所で固定させること。
 2 注意事項には、必要に応じて区域の説明等を記載すること。

4 特別保護指定区域用

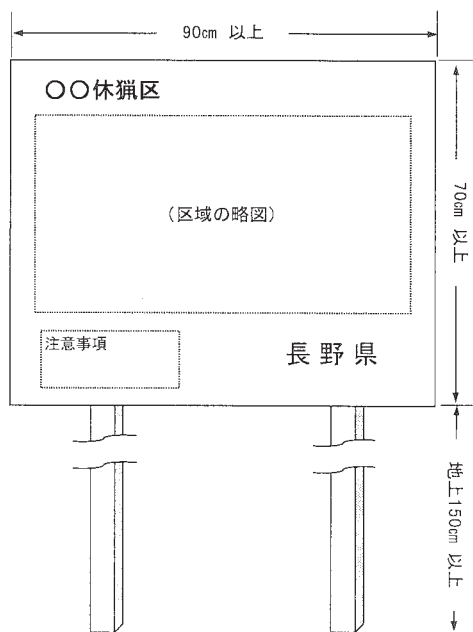
既存の工作物等を利用して設置する標識



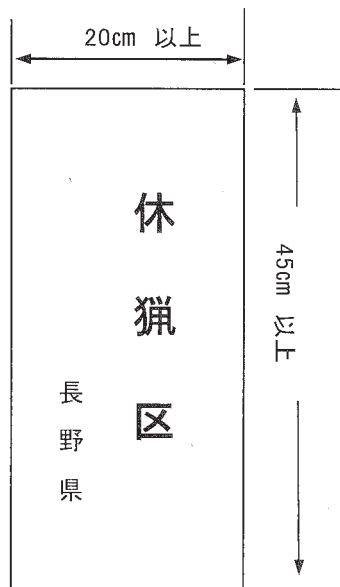
(備考) 原則として地上 150cm 以上の場所で固定させること。

5 休猟区用

区域の略図、注意事項等を示す標識



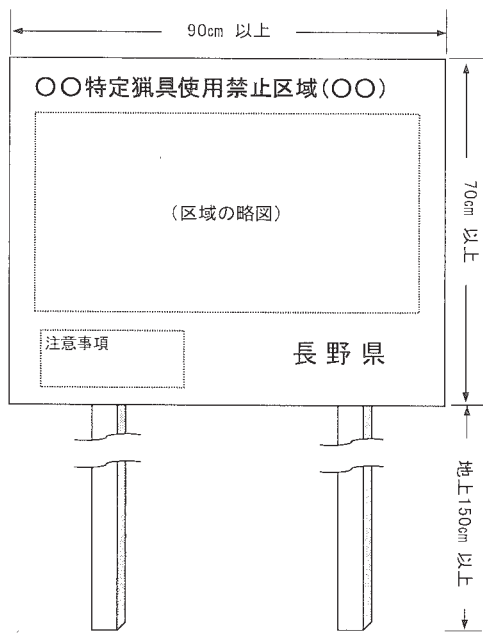
既存の工作物等を利用して設置する標識



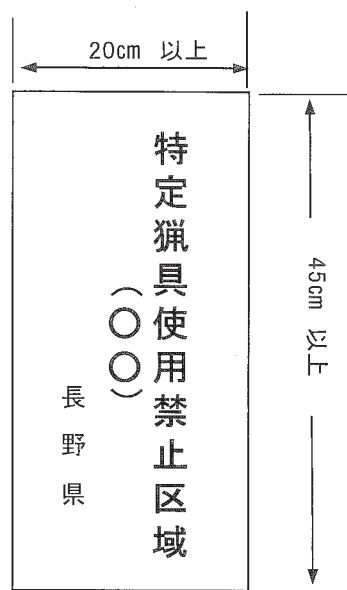
- (備考) 1 既存の工作物等を利用して設置する標識については、原則として地上 150cm 以上の場所で固定させること。
2 注意事項には、必要に応じて区域の説明等を記載すること。

6 特定猟具使用禁止区域用

区域の略図、注意事項等を示す標識



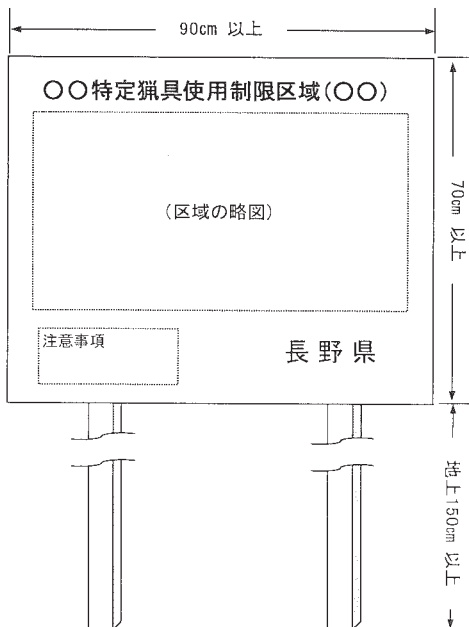
既存の工作物等を利用して設置する標識



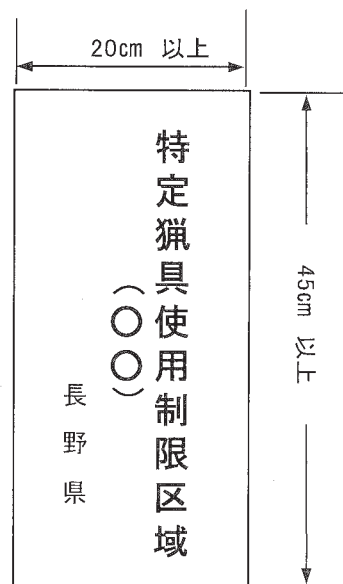
- (備考) 1 (○○)の部分には、使用禁止する特定猟具名を表記すること。
 2 既存の工作物等を利用して設置する標識については、原則として地上150cm以上の場所で固定させること。
 3 注意事項には、必要に応じて区域の説明等を記載すること。

7 特定猟具使用制限区域用

区域の略図、注意事項等を示す標識



既存の工作物等を利用して設置する標識



- (備考) 1 (○○)の部分には、使用制限する特定猟具名を表記すること。
 2 既存の工作物等を利用して設置する標識については、原則として地上150cm以上の場所で固定させること。
 3 注意事項には、必要に応じて区域の説明等を記載すること。

県道の構造の技術的基準等に関する条例に基づく県道に設ける道路標識の寸法に関する規則をここに公布します。

平成25年3月29日

長野県知事 阿部 守 一

長野県規則第33号

県道の構造の技術的基準等に関する条例に基づく県道に設ける道路標識の寸法に関する規則

(趣旨)

第1条 この規則は、県道の構造の技術的基準等に関する条例（平成24年長野県条例第79号）第3条の規定により、県道に設ける道路標識の寸法を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則で使用する用語の意義は、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令（昭和35年総理府令・建設省令第3号）で使用する用語の意義による。

(道路標識の寸法)













第3条 道路標識の寸法は、別表のとおりとする。

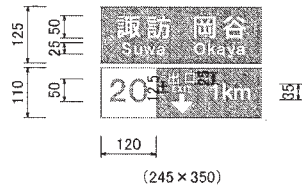
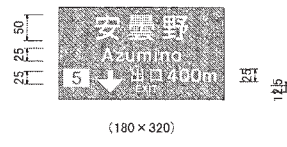
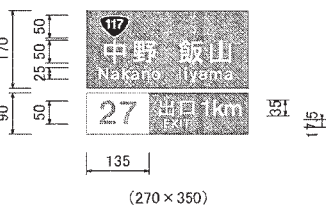
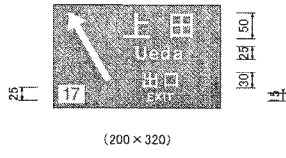
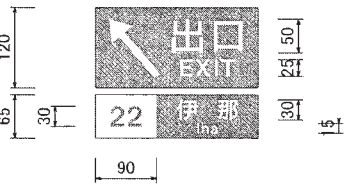
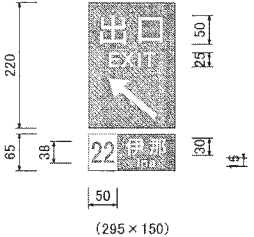
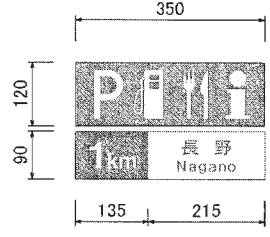
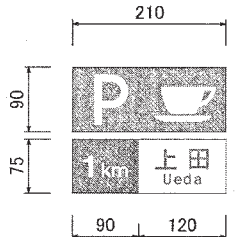
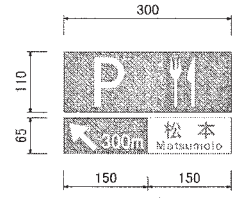
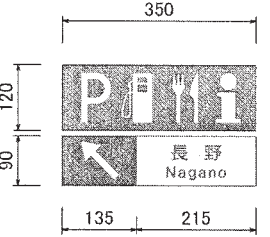
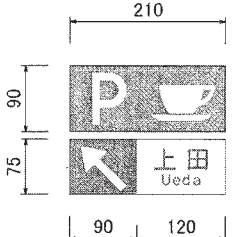
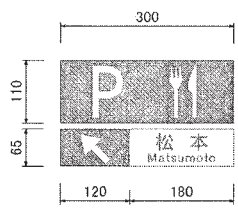
附 則

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

(別表) (第3条関係)

1 案内標識

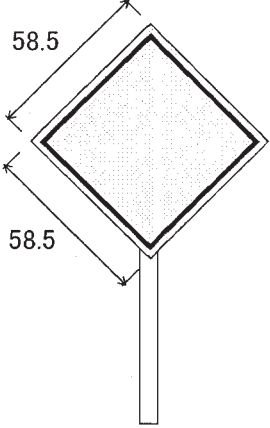
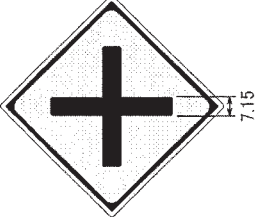
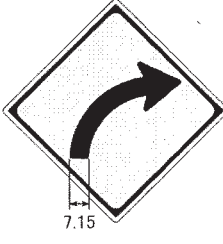
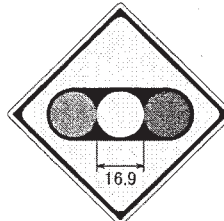
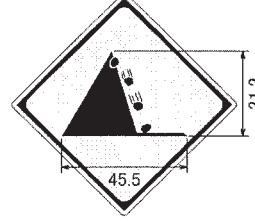
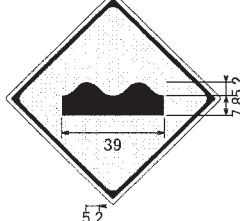
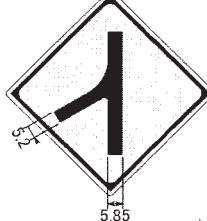
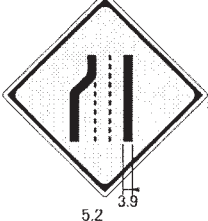
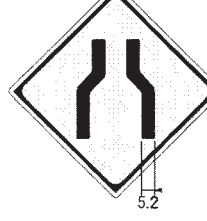
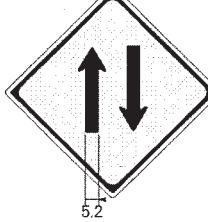
都府県 (102-B)	入口の方向 (103-A)	入口の方向 (103-B)
 <p>(120 × 200)</p>	 <p>(120 × 120)</p>	 <p>(120 × 120)</p>
入口の予告 (104)	方面及び距離 (106-B)	方面及び車線 (107-A)
 <p>(120 × 120)</p>	 <p>370</p>	 <p>(180 × 210)</p>
方面及び車線 (107-B)	方面及び方向 (108の2-D)	方面及び方向 (108の2-E)
 <p>(140 × 250)</p>	 <p>(140 × 320)</p>	 <p>(120 × 200)</p>
出口の予告 (109)	方面及び出口の予告 (110-A)	方面及び出口の予告 (110-B)
 <p>(150 × 450)</p>	 <p>135</p> <p>(270 × 350)</p>	 <p>(200 × 320)</p>

<p>方面、車線及び出口の予告 (111-A)</p> 	<p>方面、車線及び出口の予告 (111-B)</p> 	<p>方面及び出口 (112-A)</p> 
<p>方面及び出口 (112-B)</p> 	<p>出口 (113-A)</p> 	<p>出口 (113-B)</p> 
<p>サービス・エリアの予告 (116-A)</p> 	<p>サービス・エリアの予告 (116-A)</p> 	<p>サービス・エリアの予告 (116-B)</p> 
<p>サービス・エリア (116の2-A)</p> 	<p>サービス・エリア (116の2-A)</p> 	<p>サービス・エリア (116の2-B)</p> 

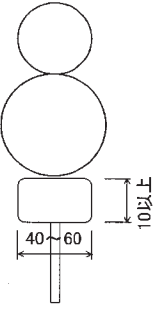

<p>非常電話 (116の2)</p>  <p>(90×60)</p>	<p>待避所 (116の3)</p>  <p>(90×60)</p>	<p>非常駐車帯 (116の4)</p>  <p>(90×60)</p>
<p>駐車場 (117-A)</p>  <p>(60×60)</p>	<p>駐車場 (117-B)</p>  <p>(90×60)</p>	<p>登坂車線 (117の2-A)</p>  <p>(60×160)</p>
<p>登坂車線 (117の2-B)</p>  <p>(90×240)</p>	<p>都道府県道番号 (118の2-A)</p>  <p>(30×30)</p>	<p>都道府県道番号 (118の2-B)</p>  <p>(80×27)</p>
<p>都道府県道番号 (118の2-C)</p>  <p>(80×27)</p>	<p>総重量限度緩和指定道路 (118の3-A)</p>  <p>(100×70)</p>	<p>総重量限度緩和指定道路 (118の3-B)</p>  <p>(100×70)</p>

<p>高さ限度緩和指定道路 (118の4-A)</p>	<p>高さ限度緩和指定道路 (118の4-B)</p>	<p>高さ限度緩和指定道路 (118の4-C)</p>
<p>高さ限度緩和指定道路 (118の4-D)</p>	<p>道路の通称名 (119-A)</p>	<p>道路の通称名 (119-B)</p>
<p>道路の通称名 (119-C)</p>	<p>まわり道 (120-A)</p>	

2 警戒標識

標識板の寸法	十形道路交差点あり (201-A)	右(又は左)方屈曲あり (202)
		
	信号機あり (208の2)	落石のおそれあり (209の2)
		
	路面凸凹あり (209の3)	合流交通あり (210)
		
	車線数減少 (211)	幅員減少 (212)
		
二方向交通 (212の2)		
		

3 補助標識

標識板の寸法（注意事項（510）を除く）	注意事項（510）
	

(備考) 1 本標識板

(1) 寸法

ア 図示の寸法（その単位は、センチメートルとする。以下同じ。）を基準とする。

イ 道路法（昭和27年法律第180号）第48条の4に規定する自動車専用道路（以下「自動車専用道路」という。）に設置する案内標識で、地名が表示されているものについては、地名を表示する文字の字数の多少により図示の横寸法を拡大し、又縮小することができる。

ウ 自動車専用道路に設置する案内標識については、図示の寸法の3倍まで拡大することができる。

エ 自動車専用道路に設置する警戒標識の寸法については、設計速度（道路の設計の基礎とする自動車の速度をいう。以下エにおいて同じ。）が60キロメートル毎時以上の自動車専用道路に設置する場合にあっては図示の寸法の1.5倍（90センチメートル×90センチメートル）まで、設計速度が100キロメートル毎時以上の自動車専用道路に設置する場合にあっては図示の寸法の1.9倍（112.5センチメートル×112.5センチメートル）まで、それぞれ拡大することができる。

オ 自動車専用道路以外の道路に設置する「駐車場」の案内標識については、便所を表す記号を表示する場合にあっては、図示の横寸法を図の2.5倍まで拡大することができる。

カ 自動車専用道路以外の道路に設置する「駐車場」、「都道府県道番号（118の2-A）」、「総重量限度緩和指定道路（118の3-A・B）」、「高さ限度緩和指定道路（118の4-A・B）」及び「まわり道（120-A）」の案内標識については、道路の形状又は交通の状況により特別の必要がある場合にあっては、図示の寸法（オの規定により図示の横寸法を拡大する場合にあっては、当該拡大後の寸法）の1.3倍、1.6倍又は2倍に拡大することができる。

キ 自動車専用道路以外の道路に設置する「登坂車線」、「都道府県道番号（118の2-B・C）」及び「道路の通称名」の案内標識については、道路の形状又は交通の状況により特別の必要がある場合にあっては、図示の寸法の1.5倍又は2倍に拡大することができる。

ク 自動車専用道路以外の道路に設置する「道路の通称名」の案内標識については、表示する文字の字数により図示の横寸法（「道路の通称名（119-C）」の案内標識については、縦寸法）を拡大することができる。

ケ 自動車専用道路以外の道路に設置する警戒標識の寸法については、道路の形状又は交通の状況により特別の必要がある場合にあっては、図示の寸法の1.2倍（72センチメートル×72センチメートル）若しくは1.5倍（90センチメートル×90センチメートル）に拡大し、又は図示の寸法の0.5倍（30センチメートル×30センチメートル）若しくは0.8倍（45センチメートル×45センチメートル）に縮小することができる。

(2) 文字等の大きさ等

ア 文字及び記号の大きさは、図示の寸法を基準とする。

イ 自動車専用道路以外の道路に設置する次の表の左欄に掲げる案内標識の文字の大きさは、次の表の右欄に掲げる値（その文字がローマ字であるときは、その2分の1の値）を基準とする。ただし、必要がある場合にあっては、これを2倍まで拡大し、又は3分の2まで縮小することができる。

案内標識	文字の大きさ
市町村 都府県（102-A） 主要地点	20 ^{cm}
方面、方向及び距離 方面及び距離（106-A） 方面及び方向の予告 方面及び方向（108の2-A・B） 方面、方向及び道路の通称名の予告 方面、方向及び道路の通称名 著名地点（114-A）	30
著名地点（114-B）	15

- ウ 「方面、方向及び道路の通称名の予告」及び「方面、方向及び道路の通称名」の案内標識については、矢印外の文字の大きさはイの規定によるものとし、矢印中の文字の大きさは矢印外の文字の大きさの0.6倍の大きさとする。
- エ 「市町村」、「都府県」、「方面、方向及び距離」、「方面及び距離」、「方面及び車線」、「方面及び方向の予告」、「方面及び方向」、「方面、方向及び道路の通称名の予告」、「方面、方向及び道路の通称名」及び「著名地点」の案内標識に、県章、公共施設の形状等を表す記号を表示する場合の当該記号の大きさは、文字（ローマ字を除く。）の大きさの1.7倍以下の大きさとする。
- オ 「駐車場」の案内標識に便所を表す記号を表示する場合の当該記号の大きさは、駐車場を表示する記号の0.7倍以下の大きさとする。
- カ 緑、縁線及び区分線の太さは、次の寸法を基準とする。

(7) 案内標識

縁は、自動車専用道路以外の道路に設置するもので、「待避所」、「駐車場」及び「まわり道（120-B）」に係るものについては9ミリメートル、「都道府県道番号（118の2-A）」、「総重量限度緩和指定道路（118の3-A・B）」及び「高さ限度緩和指定道路（118の4-A・B）」に係るものについては16ミリメートル、「登坂車線」に係るものについては10ミリメートル、「都道府県道番号（118の2-B・C）」及び「道路の通称名」に係るものについては8ミリメートル、その他のものについては文字（ローマ字を除く。）の大きさの20分の1以上の太さとし、縁線及び区分線は、文字（ローマ字を除く。）の大きさの20分の1以上の太さとする。

(イ) 警戒標識

縁及び縁線は、12ミリメートルとする。

2 補助標識板

図示の寸法を基準とする。ただし、その附置される本標識板の拡大率又は縮小率と同じ比率で拡大し、又は縮小することができる。

- 3 この別表に規定する標識の番号は、当該標識に対応する道路標識、区画線及び道路標示に関する命令別表第2に規定する標識の番号とする。

道路管理課

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第10条第1項の規定による移動等円滑化のために必要な新設特定道路の構造の基準に関する条例施行規則をここに公布します。

平成25年3月29日

長野県知事 阿部守一

長野県規則第34号

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第10条第1項の規定による移動等円滑化のために必要な新設特定道路の構造の基準に関する条例施行規則

目次

- 第1章 総則（第1条・第2条）
- 第2章 歩道等（第3条—第11条）
- 第3章 立体横断施設（第12条—第17条）
- 第4章 乗合自動車停留所（第18条・第19条）
- 第5章 自動車駐車場（第20条—第30条）
- 第6章 移動円滑化のために必要なその他の施設等（第31条—第35条）

附則

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第10条第1項の規定による移動等円滑化のために必要な新設特定道路の構造の基準に関する条例（平成25年長野県条例第14号）の規定に基づき、同条例の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規則で使用する用語の意義は、移動等円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める省令（平成18年国土交通省令第116号）で使用する用語の意義による。

第2章 歩道等

(歩道)

第3条 道路（自転車歩行者道を設ける道路を除く。）には、歩道を設けるものとする。

(有効幅員)

第4条 歩道の有効幅員は、県道の構造の技術的基準等に関する条例に基づく県道の構造の技術的基準に関する規則（平成25年長野県規則第35号。次項において「県道構造規則」という。）第12条第3項に規定する幅員の値以上とするものとする。

2 自転車歩行者道の有効幅員は、県道構造規則第11条第2項に規定する幅員の値以上とするものとする。

3 歩道又は自転車歩行者道（以下「歩道等」という。）の有効幅